

令和7年度第2回久留米市スポーツ推進審議会議事録（要旨）

○開催要領

1. 開催日時：令和7年10月23日（木）14時00分開会
2. 会場：久留米市荘島体育館 2階会議室
3. 出席者：委員11名
右田委員、草場委員、山崎委員、田中（雅）委員、矢野委員、
田中（太）委員、稻益委員、田中（紀）委員、古賀（喜）委員、
松藤委員、廣松委員
4. 欠席者：行實委員、山田委員、豎山委員、塚本委員、中村委員、井手委員
5. 傍聴者：なし

○議事次第

1. 会長あいさつ
2. 議事（1）市民意識調査からみる本市のスポーツを取り巻く現状について
（2）次期計画策定に向けた関係団体からの意見について
（3）子どもの運動・スポーツの習慣に関するアンケートについて
（4）次期計画の骨子案について
3. その他

○配布資料

- ・令和7年度第2回久留米市スポーツ推進審議会次第
- ・久留米市スポーツ推進審議会委員名簿
- ・議事（1）市民意識調査からみる本市のスポーツを取り巻く現状について
- ・議事（2）次期計画策定に向けた関係団体からの意見について
- ・議事（3）子どもの運動・スポーツの習慣に関するアンケートについて
- ・議事（4）次期計画の骨子案について
- ・（別紙）計画の体系及び具体的な施策内容（案）
- ・【参考】体系の新旧比較表

○議事録

1. 右田会長挨拶

会議の成立

- ・委員 17 名のうち 11 名出席、久留米市スポーツ推進審議会条例第 7 条 第 2 項により会議の成立を報告

2. 議事

(1) 市民意識調査からみる本市のスポーツを取り巻く現状について

※事務局より説明

<質疑>

●委員

市内の公共施設の敷地内で、スケートボードで遊んでいる子どもが多くいる現状。施設のほかの利用者から迷惑になっているという意見を多く寄せられている。一方で、市内にはスケートボードを使用できる施設がない状況。こういった種目をやりたい子どもはどこでスケートボードをやつたらいいかという課題があると感じている。公共施設の跡地にスケートボードができる施設を作ったらいいのではないかとも思うが、人が集まるようになると騒音などといった問題も出てくると思っている。

●委員

近くの公園でも子どもがボール遊びをしていると、ボールが公園から出てしまい、道路にすぐに出てしまう。子どもが安全に遊べる場所が少なくなっていると思う。子どもが安全に遊べる場所、ハード面の整備に力を入れてはどうか。

議事（2）次期計画策定に向けた関係団体からの意見について

※事務局より説明

<質疑>

●委員

スケートボードパークの設置を求める署名については、現在では 1 万件以上集まっていると聞いている。議会の中でもスケートボードができる施設がない点については課題と認識しているが、その点どう考えているか質問したい。次期計画の策定に向けて重要な点だと思う。

●事務局

スケートボードパークの件について、要望が上がっていることは承知している。市としても若者がスポーツに親しむ場や競技を始めるきっかけとなる場としてなにか手立てが必要とは考えている。一方で、施設の整備については、安全面や騒音の問題、新規に施設を整備する場合は、費用の問題があると考えている。次期計画の中にどのように盛り込んでいくのかは委員の皆様と議論を深めていきたい。

●委員

施設整備に関して苦情や騒音の問題があるという点で、どのくらいの量があれば苦情となるのか。基準があれば教えていただきたい。

●事務局

何件以上の声があれば苦情と認定するといった決まりはない。施設を要望する声があるのと同じで、心配する声もある。施設整備に安全確保等は必要な視点。

●委員

小学生低学年の体力低下は実感するところがある。市のスポーツ推進委員でも今般、体力測定アドバイザーの資格を取得する動きを進めている。体力測定が運動を始めるきっかけになればいいと思う。

●委員

小学生低学年の体力低下がみられるというのはどこからの意見か。データがあるのか。現場では特に小学生低学年の体力低下がみられるという実感はない。

●事務局

総合型地域スポーツクラブからいただいたご意見。日々様々なスポーツ教室を行っている中で感じ取られたのだろうと推測する。

●委員

学校の体力テストでは特に、低学年に体力低下がみられるという結果は出ていなかつたように思う。全体的に低下傾向にあることは確かに、特に女子のほうが低下傾向にあるのは事実。県教育委員会のほうでもなぜ低下傾向にあるのかというのはよくわかつていないという見解だった。

議事（3）子どもの運動・スポーツの習慣に関するアンケートについて
※事務局より説明

<質疑>

●委員

特別支援学校の運動・スポーツ施設の満足度のアンケート結果を見ると、「どちらでもない、やや不満である、不満である」を合計すると 67%ほどになる。約 7 割の子どもが満足してはいないという結果。「スポーツに親しむために市に力を入れて欲しいこと」では、運動・スポーツを指導してくれる人など、支える側の人を増やす」の項目が多くなっている。市としてはどのように対応していくつもりか考えを伺いたい。

●事務局

障害の有無にかかわらず、誰もが楽しめるスポーツ環境づくりが求められていると考えている。まずは、支援が必要な方がスポーツの場に参加するのが当たり前なんだ。という認識を、障害を持たれている参加者当事者のみではなく、市民の皆さん全員に周知を進めて、機運の醸成を図っていくこと。
あわせて、指導する人材の育成についても、必要になってくると考えている。

●委員

小学校にある遊具が老朽化して使えるものが少なくなってきたのも問題。また、放課後は学校施設開放事業による社会体育の利用者で予定が埋まっているため、子どもが放課後にグラウンドでは遊べない状況になっている。
小学生に関しては運動する子どもとしない子どもで 2 極化が進んでいると感じている。スポットを当てるポイントは運動を日頃している子ではなく、日ごろやっていない子なのではないかと思う。

議事（4）次期計画の骨子案について
※事務局より説明

<質疑>

●委員

要望になりますが、アーバンスポーツの施設整備は時間がかかることは理解しているが、例えば施設がなくてもアーバンスポーツの大会の誘致はできるし、事

例がある。大分市や北九州市などの事例もあるので、久留米市でも考えていただきたい。

●委員

部活動の地域展開について、指導者の確保が困難である点が課題にあがっていると思う。県の人材バンクには指導者をしてもいいという人が登録されている場合があるので、そういうものを今後活用検討されてはいかがかという情報提供です。

●右田会長

それでは今後この骨子案に沿って、次期計画を策定していきたいと思います。本日の議事は以上となりますので、進行を事務局に戻したいと思います。

●事務局

次第3その他として、本日の審議会全体を通して何かご意見ございませんでしょうか。

<意見なし>

次回の審議会の開催日程ですが、11月下旬から12月中旬の開催を予定しています。日程については後日書面にて案内させていただきます。以上をもって、令和7年度第2回スポーツ推進審議会を閉会いたします。

15時10分閉会